

Southern California Japanese Scholars Forum & Japan America Business Association 共催

第 25 回フォーラム「日本のエネルギー問題を考える」

今回のフォーラムのテーマは、今まさに一番ホットな日本のエネルギー問題です。環境省の岸雅明先生と古河電工の国分亮先生に、政策側と開発側の立場からそれぞれ「日本の環境・エネルギー戦略の今後の展望」と「エネルギー問題の本質と太陽光発電の将来」というタイトルで講演して頂きます。お申し込みをお待ちしております！

日：6月24日(日)

時：2PM 講演会開始 - 5PM 終了 + 講演会後に交流会 (日本人らしく時間通りに来てください！)

会場：UCLA Anderson School of Management, Room B313

会場への行き方：SCJSF の HP を参照してください(<http://www.scjsf.org/directions.html>)

SCJSF ホームページ：<http://www.scjsf.org>

参加費：無料

参加申し込み方法：以下のテンプレートをご利用の上、japanesescholarsforum@gmail.com までお申し込み下さい。

1. 氏名(フルネームで)
2. 所属(大学名と学部名。企業の場合は会社名と部署名。)
3. 今後の講演会で講演者として推薦したい人物の名前とその理由

講演 No.1

「日本の環境・エネルギー戦略の今後の展望」

岸 雅明 (Masaaki Kishi)

環境省大臣官房総務課

The Luskin School of Public Affairs

University of California, Los Angeles

産業革命以降、人類は、化石燃料とともに劇的な発展を遂げてきた一方、化石燃料に起因する温室効果ガスの増大により、地球温暖化という新たな危機に直面しています。日本は、京都議定書の下、主要排出国として温室効果ガスの削減努力を続けてきましたが、昨年3月の東日本大震災を契機に原子力発電の在り方が問われるなど、現在、大きな岐路に立たされています。本講演では、今後の人類の持続可能な発展に向けた日本の環境・エネルギー戦略について、政策的観点から現状と課題をご紹介します。

経歴：2005年東京大学法学部を卒業後、環境省に入省。ペットボトル等のリサイクル、地球温暖化対策の新しい制度設計、新卒採用担当などを歴任。2011年9月から、人事院長期在外研究員制度を利用し、UCLA The Luskin School of Public Affairs に留学し、公共政策修士(Master of Public Policy)の取得に向けて勉強中。

講演 No.2

「エネルギー問題の本質と太陽光発電の将来」

国分 亮 (Ryo Kokubu)

古河電気工業(株) 次世代生産技術開発センター

Department of Materials Science and Engineering

University of California, Los Angeles

人類が現代の生活水準を維持・向上させていくには、地球環境への負荷が低く持続的なエネルギー源の確保が不可欠です。原発事故を受けて、改めて太陽光や風力などの再生可能エネルギーが注目を集めていますが、課題も多く残されています。本講演では、エネルギーの生産と消費の関係からエネルギー問題を解釈し、有望なエネルギー源の一つとされている太陽光発電の原理や最近の動向についてご紹介したいと思います。

経歴：2004年東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻修了後、古河電気工業(株)に入社。以降、生産技術部門にて半導体デバイス、ポリマー加工、ナノテクノロジー等の分野で、生産技術開発(事業化や生産性向上)に従事。2010年8月より UCLA の Department of Materials Science and Engineering に留学、有機物を用いた太陽電池の研究を行う。